

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害者支援課
評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立戸畑障害者地域活動センター	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市戸畑区千防一丁目 1 番 1 6 号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・無	ペナルティ制 有・無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州障害者福祉事業協会		
	所 在 地	北九州市戸畑区北鳥旗町 2 番 2 2 号		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（生活介護、自立訓練（生活訓練）、就労継続支援（B型））の管理運営		
指定期間		令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。				
【所 見】				
①③・利用者や家族の要望を踏まえて送迎ルートを細かく設定するなど、新規利用者の確保に努めるとともに、事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。				
【月平均工賃額（就労継続支援B型）】 (単位：円)				
年 度	【参考】R3年度 (更新前)	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	7,523	10,700	11,700	15,150
実績	10,644	11,494	13,654	17,944
※ ・・・評価対象年度（以下、同じ）				
①・就労継続支援B型事業については、事業所内に3つの工房を設けて多様な生産活動に取り組んでいる。洗濯工房においては、洗濯作業の顧客へ材料費高騰に理解を求め、販売価格の1割値上げを実現するとともに、パン工房においては高校の売店に加え、地域行事のバザー活動等にも販路を拡げ、安定した収入源の確保に努めている。また、就労基礎力や作業習熟度など利用者の能力の変化に合わせて工賃を見直すとともに、経費の削減により工賃財源を確保し、工賃アップにつなげている。				
・生活介護事業については、特殊浴槽を更新し、衛生的で安楽な姿勢での入浴環境を整えたことで、入浴支援や土曜・祝日の利用者の増加につなげている。また、強度行動障害者向けの専用空間（最大6人）を設け、支援の充実に取り組んでいる。				
②・見やすい内容に更新した施設紹介パンフレットに基づき、近隣の相談支援事業所を中心に営業活動を行うとともに、定例見学会を企画・開催するなど、新規利用者の獲得に向けた取り組みを強化している。				
(2) 利用者の満足度				
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。				
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。				
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。				
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。				
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。				

- ⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

〔所 見〕

施設の総合評価

【満足度】

(単位：％)

年 度	【参考】R3年度 (更新前)	R4年度	R5年度	R6年度
実績(生活)	82.5	84.6	92.0	87.9
実績(就労)	77.6	80.9	87.5	90.5

- ①・北九州市が実施したアンケートの結果、施設の各サービスの「良い」、「まあまあ良い」を合わせた評価は、89.2％(生活介護87.9％、就労支援90.5％)となっており、全体として利用者の満足度は高いものとなっている。
- ②・提案箱の設置や利用者説明会の開催により、利用者の意見の把握に努めるとともに、給食アンケート(年2回実施)に基づき、利用者の嗜好に合った食事や季節を感じる行事食の提供を行うなど、利用者意見の反映を図っている。
- ③・利用者からの苦情や要望等に対しては、苦情解決規程に基づいて適切に対応し、より良いサービスを提供できるよう努めている。
- ④・利用者や家族への情報提供として、利用者説明会を毎月初めに開催するとともに、従来の連絡帳に加えLINE等の連絡手段も用いて、迅速な情報提供に努めている。
- ⑤・ボランティア参加者と一緒に「戸活まつり」を開催するとともに、重度な障害当事者に傾聴ボランティアとしての活動の機会を提供している。
- ⑥・健康を目指す取り組みとして令和3年度から導入した「戸活健康マイレージ」を継続して実施し、生活習慣の改善に向けた利用者の意識付けに取り組んでいる。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

〔所 見〕

【光熱水費】

(単位：千円)

年 度	【参考】R3年度 (更新前)	R4年度	R5年度	R6年度
予 算	6,953	8,737	8,857	7,980
決 算	6,303	7,499	6,682	7,411

- ①・近年の地球温暖化の影響を受ける中で、エアコンの温度設定の管理やLED照明の導入、不要な電気の消灯など、節電に向けた取り組みに努めている。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

	【所 見】 ・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	
	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況 ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。 ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。 ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 ④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。
	【所 見】 ① ・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。 ② ・個別研修計画に基づき、計画的に研修の機会を提供し、職員の資質や能力の向上を図っている。 ③ ・地域交流や地域貢献の一環として、浅生まちづくり協議会活動（まち美化清掃）に積極的に参加している。 ・戸畑障害支援ネットワーク会議を開催し、他事業所や関係機関と事例検討や情報交換を行うなど、地域連携に努めている。 ・職場実習として精神看護実習生等を受け入れ、将来の社会福祉人材の育成に貢献している。
	(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。 ② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。 ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。 ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。 ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。 ⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。 ⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。
	【所 見】 ①② ・利用者の個人情報保護や人権尊重、身体拘束防止等への取り組みにより、適切な運営に努めている。 ⑤ ・日常の事故防止や安全対策の取り組みとして、事故やヒヤリハット発生時は速やかな報告や原因分析を実施するとともに、全職員で安全意識の向上に取り組んでいる。 ⑥ ・消防避難訓練の実施や事業継続計画のシュミレーションを行うなど、障害福祉サービスの安定的かつ継続的な提供に努めている。

【総合評価】

[所 見]

- ・事業計画に沿って、通所施設の適切な運営管理を行っており、利用者の障害特性やニーズに応じたサービス提供に努めるとともに、利用者の満足度も高く、障害福祉サービス事業所の管理運営者として評価できる。
- ・就労継続支援B型事業については、洗濯工房やパン工房など事業所内に3つの工房を設けて多様な生産活動に取り組むとともに、安定した収入源の確保に努め、工賃のアップにつなげている。
- ・生活介護事業については、特殊浴槽を更新して入浴環境を改善し、入浴支援の利用者の増加につなげている。また、強度行動障害者向けの専用空間（最大6人）を設け、支援の充実に取り組んでいる。
- ・地域交流や地域貢献の一環として、浅生まちづくり協議会活動（まち美化清掃）に積極的に参加するとともに、戸畑障害支援ネットワーク会議を開催し、他事業所や関係機関と事例検討や情報交換を行うなど、地域連携に努めている。

[今後の対応]

- ・引き続き、施設の管理運営の適切な実施を期待する。